○議長（小林哲雄）

再開いたします。

午後 3 時 1 5 分

○議長（小林哲雄）

日程第 7 議案第 6 4 号 平成 2 5 年度開成町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）を議題といたします。予算書の説明を順次担当課長に求めます。

保険健康課長。

○保険健康課長（田辺弘子）

それでは、1 ページお開きください。

議案第 6 4 号 平成 2 5 年度開成町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）。

平成 2 5 年度開成町の国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。第 1 条、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 8 0 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 1 6 億 9, 7 8 1 万 8, 0 0 0 円とする。

2 項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

平成 2 5 年 1 2 月 3 日提出、開成町長府川裕一。

それでは、1 ページおめくりください。第 1 表、歳入歳出予算補正でございます。歳入につきましては、4 款療養給付費等交付金、補正額 8 0 万円、計といたしまして、1 6 億 9, 7 8 1 万 8, 0 0 0 円でございます。

歳出、2 款保険給付費、1 0 款諸支出金ということで、補正額計につきましては、歳入と同様でございます。

それでは、内容につきまして、8 ページ、9 ページをご覧ください。今回の補正予算につきましては、歳出につきましては、退職者の療養費と一般の高額療養費の増額補正、歳入につきましては、退職の療養費の歳出額の変更に伴う交付金の調整が主な補正内容となっております。

それでは、2、歳入からご説明をさせていただきます。4 款療養給付費等交付金、1 項療養給付費等交付金、1 目療養給付費等交付金です。これは歳出の 2 款の保険給付費の 1 項療養諸費の 8 0 万円の増額補正に伴い歳入の増額補正をしております。

退職者の医療給付につきましては、退職者の保険税を除いた額が、社会保険診療報酬支払基金から交付されることになっております。退職者医療交付金として 8 0 万円計上をさせていただきます。

続きまして、3、歳出になります。2 款保険給付費、1 項療養諸費、4 目退職被保険者等療養費 8 0 万円の増額補正です。こちらは退職者に対する療養費の支給でございます。医師が治療上必要と認めた場合の補装具や、針、灸、マッサージなどの施術を受けた時の経費でございます。こちらは当初予算におきまして、年 8 0 万円を見込んでおりました。9 月末の現在の実績といたしまして、既に 7 2 万 6, 0 0 0 円を

執行してございます。今年度7月におきまして、お一人の方が補装具を作成して、お一人分です。10万円ほど医療費がかかっておりまして、7月、1月分で23万円ほどの支出が生じております。また、件数も増えており、昨年度の9月末の件数でいきますと31件、今年度で見ますと51件ということで20件ほど増えているような現状でございます。月平均7万円で当初予算を組んでおりましたけれども、今後の伸びも見込みまして、後半の支出を月14万円と想定をいたしまして、80万円の増額補正をするものでございます。

その下、2款保険給付費、2項高額療養費、1目一般被保険者高額療養費でございます。一般被保険者高額療養費800万円の増額補正になります。こちらは今年度の当初予算では、月平均740万円を見込んでおりましたが、今現在の高額療養費の月平均といたしましては780万円ほどの支出になってございます。当初予算も増えており、後半の伸びも考慮いたしまして、月800万円と見込んで、不足分の800万円の増額補正をしております。こちらも件数が増えておりまして、昨年度の9月末で717件、今年度9月末で見ますと820件ということで、約100件分増えているような現状がでございます。

続きまして、10款諸支出金、2項基金費、1目財政調整基金費、財政調整基金積立金800万円の減額補正でございます。こちらにつきましては、9月の決算議会におきまして、剰余金を基金積立金に置いておいたものを、今回増えた給付費に補てんをするために基金を減額し調整させていただいております。基金積立金6,000万円から800万円を減額いたしまして保険給付費に充てる補正でございます。

説明については以上でございます。

○議長（小林哲雄）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

1番、菊川敬人議員。

○1番（菊川敬人）

1番、菊川です。ちょっと確認をさせてください。9ページの高額療養費の800万は、財政調整基金をとりくずして補正しているわけですが、先ほど課長の説明で、740万月かかっていたところが、780万に増えていますよということ、あるいは718件が820件に増えているということで、今回は800万の増額補正をしたということですが、超高齢化社会でこの部分が増えてくるのは確実だと私も見ていますが、この今回の800万の金額で今年度は充足できるのか、それともまた、再度補正を組む必要が生じるのかということですが、この800万で、今年度中は見込めるといふことよろしいのでしょうか。

○議長（小林哲雄）

保険健康課長。

○保険健康課長（田辺弘子）

ご質問にお答えします。今現在の伸びとしましては800万円で一応年度内運営できると考えておりますけれども、この高額の場合につきましては、1件、本当に高額

の方が増えたことで大きく影響を及ぼすというところがございます。

今年度の状況を見ますと、毎年が高額につきましては、途中で補正をさせていただく場合が多いんですけれども、通年ですと数件の高額療養費が発生したために不足分が生じてということで補正をさせていただいております。

ただ、今年度につきましては、件数のほうをご説明をさせていただきましたけれども、上半期の状況を踏まえますと、数件の高額者が発生したというよりも、件数的に100万円以下の方たちが増えてという形で、件数が増えて不足が生じているというような状況がございます。

今現在ですと、800万という補正で賄えると考えておりますけれども、今後の状況によっては、また、3月補正で計上するという可能性もあるかなというところがございますけれども、今現在はこれでやれるというところですよ。

○議長（小林哲雄）

保健福祉部長。

○保健福祉部長（草柳嘉孝）

今回の補正については暫定的と考えていただいてよろしいかと思えます。

今の高額療養費の話ですけど、これについては、通常ですと7割保険が持ちまして、3割が自己負担というのが原則です。その3割分が1月、ある一定の額を超えてくると、7万幾らが超えてくると、その部分について、高額療養費が発生するというのが一つの原則です。その部分が当然なくなってきたというところですけども、実質的にはこのほかに本体の7割部分の話というのは別な部分で当然あるわけです。それは今回は何とかさばけるわけですけど、当然、こういうのには国庫金があとどのくらい入ってくるかというところもありますので、いずれにしても、また、3月の時点では、補正の中でお願いをするような形になろうかと思えます。

以上です。

○議長（小林哲雄）

菊川議員。

○1番（菊川敬人）

高額療養に関しても、先がなかなか読みにくいというか、見通せない部分というのがあると思いますので、今の説明で理解いたしました。

○議長（小林哲雄）

ほかに質疑ございますか。

8番、山田貴弘議員。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。今の関連の部分があるかと思いますが、高額医療費の部分、こういう制度があるんだよという親切な啓発活動をすれば、必然的に増えるというふうに、前年度ぐらいから親切にやっているなというところでは見ていたんですが、やはり件数が増えたなというところで自分も理解するところでもあります。

先ほど部長答弁の中で7割負担の部分は何とか賄える状態だというような答弁が

ありました。当然、これは税の部分が出てくると思うんです、保険税の部分、この部分での収納率というのですか、そこら辺が絡んでくると思うので、そこら辺は前年並みで推移した中で収納率は成果を上げているというふうに解釈していいのか、そういう部分で、今回、補正の部分では高額医療に対して800万で何とか推移ができるんじゃないかという答弁での解釈でいいのか、よろしくをお願いします。

○議長（小林哲雄）

保健福祉部長。

○保健福祉部長（草柳嘉孝）

今の税の収入ですけれども、特に今年度につきましては、保険証の切り替えの時期に当たっていますので、前年よりは収納率は、現状では一応上がっていると認識しています。これからの医療費のところですが、何分にも国保については、退職については、社保支払基金が最終的に面倒を見てくださいから、余りそこは心配しなくてよろしいかと思えますけれど、やはり国保の多数を占める一般の医療費、その辺については今後の伸びについては、国庫金のところがどうしても全体をあわせても4割国庫補助で、あとは自分の税とかで賄わなければいけないわけですから、その辺のところは注意深く、これからの動向を見ていこうかと思っています。

ただ、現状においては、今回においては補正していませんけれども、そういった国庫金とかの状況と収入とかがありますから、3月の時点では補正は必要だと考えています。

山田議員がおっしゃっていた、税の関係は今どうですかというお話のところでは、前年よりも今のところ状況はいいということでご理解をいただきたいと思えます。

○議長（小林哲雄）

ほかに質疑ございますか。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

お諮りします。質疑を打ち切り、討論を省略して、採決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

ご異議なしと認め、採決いたします。

議案第64号 平成25年度開成町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（小林哲雄）

お座りください。起立全員によって、可決いたしました。